

平成29年12月20日 「まちなか活性化ワークショップ」を 開催しました！

●多くの皆様のご参加、ありがとうございました！

街なか
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

本市では、平成29年12月20日に、中心市街地の活性化に向けた
まちなかの「空き」空間の利活用やポテンシャルについて考える

「まちなか活性化ワークショップ」を初開催いたしました。

今回のワークショップには、多種多様な業種から、37名の皆様にご参加いただきました。
お忙しい中、大変多くのご参加をいただき、誠にありがとうございました。

●ワークショップの概要

開催の目的

昨今コインパーキングをはじめとした駐車場などが虫食い状に立地し、「都市のスポンジ化」が進みつつあるまちなかの現状を踏まえ、これらの「空き」空間の利活用やポテンシャルについて、皆様に考えていただくことを通じ、将来的にこれらの空間を活用した具体的な事業などに繋げていくことを目的として開催しました。

概要

- ・ワークショップでは、株式会社ワークヴィジョンズの西村浩様を講師として、宇都宮大学 地域デザイン科学部の安森亮雄先生と、株式会社ビルスタジオの塩田大成様をアドバイザーとして迎え、実施しました。
- ・参加者の方には、A～Fの6つのグループに分かれ、まち歩きした後に、グループワークを通じ、まちなかの「空き」空間の「現状・課題」と、それを踏まえ、「将来変えたい・変えるべきエリア」の選定について意見を出し合い、まとめていただきました。

まち歩き



グループワーク



●グループワークで出された主な意見

Aグループ



現状・課題等

- 【子ども】**
 - ・子どもが歩いていない。
 - ・子どもと一緒にいけるお店が少ない。
 - ・ゆうあい広場(うつのみや表参道スクエア内)は飲食ができない。
- 【店舗・買い物】**
 - ・昼の顔がない。夜の街である
 - ・学校や住宅があるが、生活に密着したものを買う場所はメガ・ドンキが担う。
 - ・買い物客が少ない。
- 【車・駐車場】**
 - ・狭い通りでも通行がある。
 - ・オリオン通りに面した所に平面駐車場があり、賑わいが感じられない。
 - ・駐車場が分かりにくい。
 - ・駐車場が多い。
- 【資源】**
 - ・特徴ある空間を活用できていない。



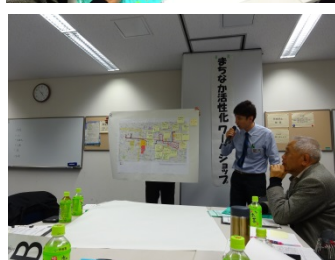
選定したエリア

日野町通り周辺

【選定理由等】

- ・子どもに優しいエリアにしたい。
- ・表参道スクエアにある「ゆうあい広場」は子どもが集まる場所なので、連携がとりやすい。等

Bグループ



現状・課題等

- 【イベント】**
 - ・鮎のつかみどりなどのイベントができる。(釜川)
- 【子ども・学生・家族】**
 - ・街なかに子連れの家族(母)がいない。
 - ・学生が滞留する場所がない。
 - ・小学校の近くだが、見通しの良い通りが少ない。公園も少ない。
 - ・小学校の近くだがタバコ屋がある。
 - ・店の種別に制限が必要。
- 【資源】**
 - ・公園がもったいない。
 - ・オリオン通りに名物のギョーザ店がない。
 - ・分かりにくい。
- 【店舗】**
 - ・昼営業している店が少ない。
- 【安全・安心】**
 - ・オリオン通りは自転車が危ない。
 - ・雰囲気が悪い。人通りが少ない。



選定したエリア

釜川周辺

【選定理由等】

- ・水辺と枝垂れ桜、ポケットパークや 空きビル・駐車場などのポテンシャルがある。
- ・人通りは少ないが、中央小学校も立地し、小学生が安心して歩き遊べるよう、車の通行禁止や公園の整備などが考えられる。等

Cグループ



現状・課題等

- 【子ども・教育】**
 - ・小さな子どもがいない。
 - ・大学がない。
- 【コンセプト】**
 - ・エリアごとのコンセプトがバラバラ
- 【資源】**
 - ・空間利用で低・未利用の公園がある。
 - ・完全に使われていない遊休地がある。
 - ・あさり川の川化
- 【自転車】**
 - ・高校生の通過動線
- 【駐車場】**
 - ・駐車場が埋まっていない(夜は埋まっている。)
 - ・オリオン通りと大通りに近い大きな駐車場がある。
- 【店舗】**
 - ・スモールビジネスがもっと多く。
 - ・とんがっている人・店が多く集まる釜川地区
- 【緑】**
 - ・緑が少ない。東武駅前の緑化



選定したエリア

向明児童公園

【選定理由等】

- ・再開発エリア内であり、その中心に位置しているの、おもしろいことができれば再開発の価値の向上にもつながるのでは。等

●グループワークで出された主な意見

Dグループ



現状・課題等

- 【子ども・家族】**
 - ・子どもが集まる施設が欲しい。
 - ・ファミリーがいない。
- 【景観】**
 - ・釜川沿いは景観を楽しめる空間だが、車の通行が多い。
 - ・景観が悪い。
- 【資源】**
 - ・釜川で桜、風鈴、もみじ、光など季節ごとのお祭りをやりたい。
 - ・決闘場にしかない公園
 - ・オリオン通り内の未利用地
- 【滞留】**
 - ・中高生の居場所(たまり場)になる場所が少ない。
 - ・オリオン通りは居酒屋が多く、中高生が頻繁に通行するのに若者向けの店舗が少ない。
- 【駐車場】**
 - ・松が峰教会、おしゃらく、ペロカフェと大谷石の建物が集まる景観をベースに駐車場の活用を考える。
 - ・パチンコ屋のネガティブイメージを増幅する駐車場
 - ・駐車場にもならない場所がある。
- 【店舗】**
 - ・夜オープン飲食店が多い。
- 【道路】**
 - ・石畳の部分に関して車の交通をどうするのか。



選定したエリア

釜川周辺
松が峰
教会北側

【選定理由等】

- ・釜川では景観が楽しめるとともに、すでに様々な取組をしている人がいる。時間帯での車両通行止めも考えられる。
- ・松が峰教会北側は大規模な駐車場があり、公園や中高生のたまり場があれば、まちの賑わいにつながるのでは。等

Eグループ



現状・課題等

- 【店舗】**
 - ・LRTが通った時に商店・飲食があるとよい。(大通り)
- 【資源】**
 - ・松が峰教会北側(観光エリア)
 - ・釜川、とがった人がいる。とがった人の集まりやすい形をつくる。
 - ・マルシェを開催するスペース
 - ・エクストリームスポーツのエリア
- 【子ども】**
 - ・子連れで行ける店がない。
 - ・安全に子どもが遊べる場所が無い。



選定したエリア

釜川周辺

【選定理由等】

- ・タトゥー屋などのとがったクリエイターが多い場所であり、そのような人が自由にものを表現できる場所になればよい。
- ・ここが活性化することで起爆剤となり、オリオン通りにも物販店も増えるのでは。等

Fグループ



現状・課題等

- 【車・自転車】**
 - ・交通量が多い。
 - ・車通行止め(にすべき。)
 - ・オリオン通りは高校生の通り道
- 【子ども】**
 - ・子どもと女性が少ない。
 - ・子どもが安心して遊べるスペース
- 【資源(あると良いものなど)】**
 - ・ドッグラン(ができるスペース)
 - ・落書きできる壁・床
 - ・展示壁
 - ・お年寄りの散歩コース
- 【駐車場】**
 - ・駐車場だらけ
- 【店舗】**
 - ・飲食店が多い。
 - ・お店の存在を知られていない。
- 【道路】**
 - ・道路の舗装
- 【緑】**
 - ・緑が少ない。



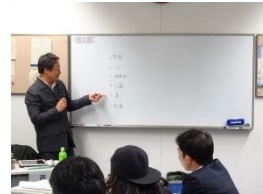
選定したエリア

釜川周辺

【選定理由等】

- ・駐車場が多く、車の通行量も多い。一方で子どもや散歩している人が少ない。
- ・小学校も近くにあるので、子どもが安心して遊べるスペースにする。
- ・車を通行止めにし、自由に落書きができる壁や床を設置し、おもしろい落書きが見られるところにする。等

●講師からのアドバイス



①半径200m程度のスモールエリアを狙う！

取組を始めるエリアは、**200m程度の小さなエリア**から。
そこで**連鎖的にプロジェクトを起こし、周辺に効果を波及させる**ことが大切。

②複数の地域資源を組み合わせた活用を考える！

- エリア内には色々な道具（地域資源）がある。
- 例えば、釜川沿いでも、街区を含めたエリアで考えると、**学校・川・駐車場・公園・道・空き家**など、活用できる道具が増える。
- 複数の道具が組み合わさることでエリアの活用可能性が高まる。

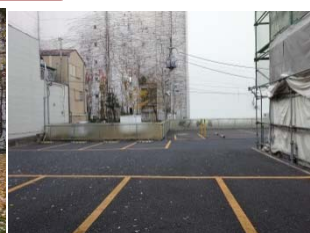
【参考】まちなかにある主な地域資源等



釜川



向明児童公園



駐車場



【松が峰教会】

大谷石建造物

【ダイニング蔵 おしゃらく】

③「次の展開」を見据えた取組を考える！

どのエリアでどのような取組を行うにしても、「**まずどこに点を打てば、次の展開が見えるのか**」という狙いを定めながら取組を考えると良い。

④表通り内側から取組の効果を波及させる、まちの「内科的治療」を考える！

- 「大通りやオリオン通り」という表通りから取組を始めることを「外科的治療」とすると、**表通りの内側にある「裏」から取組を展開**することで、**内側の魅力が高まり、外側に波及し、それが表通りに出てくる**という「内科的治療」による手法もある。
- 街区の外側から利用する機会が多いので、街区の内側は意外と空いている。これらの場所は**家賃も安い**ため、**ビジネスがしやすく、若い人も多く出店**できる。
こうした場所を狙いながらまちを見直すと色々な戦略が見えてくる。



～次回のワークショップに向けて～

次回に向け、上記のような視点で日々まちを歩いていただき、**どのエリアでどのような取組ができるのか、その答え**を持ってきてほしいと思います。

次回のワークショップは2月20日（火）13：30～を予定しています！

次回のワークショップでは、
前回選定したエリアを「どのようなエリアにしていきたいか、
そのためにはどんな取組が必要か」 などについて、
参加者の皆様に考えてもらい、まとめていただくグループワークを予定しています。
次回の結果につきましても、改めて市ホームページ等で情報発信してまいります。

【お問い合わせ先】

宇都宮市 総合政策部 地域政策室 〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号

Tel:028-632-2109(直通) FAX:028-632-7072 E-mail:u2010@city.utsunomiya.tochigi.jp